令和４年度　愛媛県６次産業化チャレンジ総合支援事業提案書

１　提案者の概要（※押印不要）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| (ふりがな)  氏名 |  | ※団体の場合  代表者の職氏名 |  |
| 住所 | 〒  愛媛県 | | |
| 消費税の  課税・非課税 |  | 公募要領３の  ⑤～⑨該当番号 |  |
| 固定電話 |  | ＦＡＸ番号 |  |
| 携帯電話 |  | メール |  |

【留意事項】

○団体・グループの場合は、その概要が分かる資料（会則・規約・定款等及び構成員名簿）を添付すること

○愛媛県が課税するすべての県税（個人県民税及び地方消費税を除く。）に未納がないことを証する書類を添

付すること

２　提案する事業内容と費用対効果

○事業名：

○新商品・新サービスの具体的内容

○ソフト経費の内容

○ハード経費の内容

【新規性】　　　　　　　　　【将来性】　　　　　　　　　【生産性】

・生産体制

・原材料の確保は問題ないか

・自社生産かＯＥＭか（ＯＥＭ予定先を記載）

・自社生産の場合の衛生管理は問題ないか

・将来的な雇用拡大の可能性は

・ターゲットは

・どの市場で販売するか

・すでに見込まれる需要（取引先からの要望におり商品化など）があれば記載

・どの程度の販売を見込むか

・地域への波及効果は

・競合の有無

・競合がある場合提案内容の独自性は？

・原材料含め今回の商品の強みは何か

３　成果目標（今回提案した新商品・新サービスの目標）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項目 | Ｒ４(実施年度) | Ｒ５ | Ｒ６ | Ｒ７(最終目標) |
| 生産量 |  |  |  |  |
| 販売額 |  |  |  |  |

４　事業スケジュール

別紙のとおり

　　※イメージ

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | 10月 |
| 試作品開発 | ○ |  | ○ |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

５　収支予算書

（１）収入の部

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区　　　分 | | | 予算額　(円) |
| 県補助金＝①＋②　（ただし、上限150万円） | | |  |
|  | 内  訳 | 1. ソフト事業（上限150万円。千円未満切り捨て） |  |
| 1. ハード事業（上限75万円。千円未満切り捨て） |  |
| 自己資金＝③＋④ | | |  |
|  | 内訳 | 1. 預貯金、現金等 |  |
| 1. 借入金、その他 |  |
| 計（①＋②＋③＋④） | | |  |

注１　県補助金の上限額は、①と②それぞれの上限額の合計225万円ではなく150万円となる。

　　注２　県補助金は、消費税課税事業者にあっては、税抜事業費を計算根拠とする。

（２）支出の部

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業  種目 | 事業内容 |  | | 事業費　(円) |
| 内訳 | 金額(円) |
| ソフト  事業 | 会議の開催 |  |  |  |
|  |  |
| 調査・検討 |  |  |  |
|  |  |
| 新商品開発 |  |  |  |
|  |  |
| 販路開拓 |  |  |  |
|  |  |
| その他 |  |  |  |
|  |  |
| ハード  事業 | 機械等の  整備 |  |  |  |
|  |  |
| 税抜事業費　　小計 | | | |  |
| 消費税額　　　計 | | | |  |
| 事業費　　　　合計 | | | |  |

注１　内訳欄には取組みの概要と要する経費（積算内訳）を記載。

注２　ハード事業は概要がわかる資料（カタログ等）及び２以上の事業者から徴した見積書を添付。